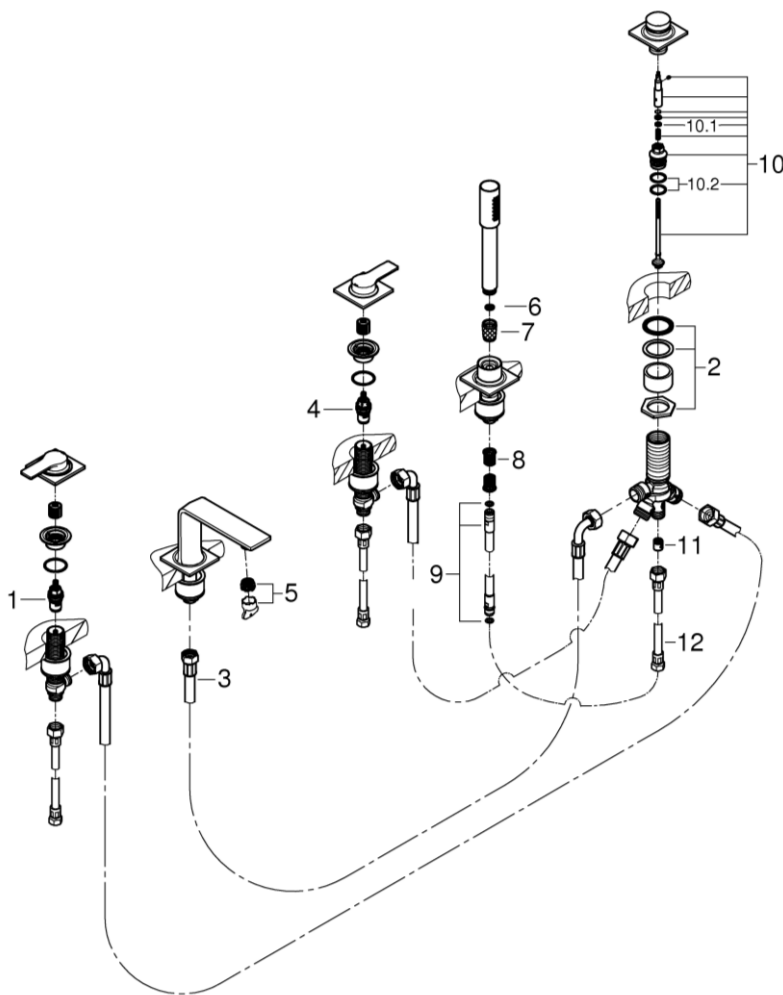


アリユール デッキバス・シャワー混合栓 据付説明書 (お客様にお渡しください)

- 製品の機能が十分に発揮されるように、この据付説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
- この据付説明書に記載されていない方法で据付され、それが原因で故障が生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。
- 据付完了後、試験運転を行い、異常が無いことを確認するとともに、「取扱説明書」にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- 施工完了後は、この説明書を同梱の取扱説明書とあわせてお客様にお渡しください。



図番	名称
1	セラミックヘッドパーツ (湯側)
2	締付セット
3	吐水口接続ホース
4	セラミックヘッドパーツ
5	エアレーター
6	ストレーナー
7	テーパーナット
8	スプリング
9	メタルシャワーホース
10	ダイバーター
11	逆止弁
12	接続ホース

接続ホースは4種類あります。
詳細についてはP7をご確認ください。

欠品、キズ等が無いかわ据付前に必ず確認してください。万一欠品、キズ等があった場合は
施工前にご購入先へご連絡をお願いいたします。

安全上の注意

据付前にこの「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく据付してください。
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠注意

湯水を逆に配管しないでください。

※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。

お客様に引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。

寒冷地仕様ではありませんので、水抜きには工具を必要とします。

※凍結破損で漏水し、家財を濡らす財産損害発生恐れがあります。

据付完了後は、配管接続部分及び水栓から、水漏れの無いこと、開閉レバー、ハンドルが閉じていることを確認してください。

※漏水で、家財を濡らす財産損害発生恐れがあります。

使用条件

●給水、給湯圧力

◇貯湯式温水器(ボイラー、電気温水器)と組み合わせる場合

最低必要圧力0.05MPa[0.5kgf/cm²](流動圧)～最高圧力0.74MPa[7.5kgf/cm²](静水圧)の範囲とします。

給水・給湯圧力は必ず同圧にしてください。

◇給水圧力が0.74MPa[7.5kgf/cm²]を超える場合は、市販の減圧弁等で適正圧力に減圧してください。

●水勢の調節及び器具の点検を容易にするために、別途止水栓の設置が必要です。

●給湯に蒸気を使用しないでください。

●水栓下部を点検出来るように必ず点検窓を設けてください。

据付前の注意

●給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。

●給水は上水道に接続してください。

※井戸水、温泉水など異物を多く含む水には使用できません。

●開梱、取り付けの際には商品の表面に傷をつけないように十分に注意してください。

●必ず配管中の異物(ゴミ、砂等)を完全に洗い流してください。

●本体のガタつき防止の為、給水・給湯配管は動かないように確実に固定してください。

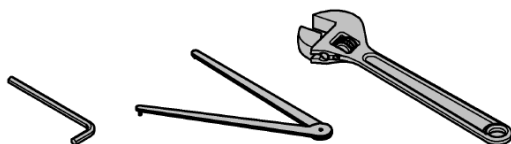
●取り付けの場合、必ず水受けを設けスラブへの防水を行ってください。

●給水・給湯ブレードホースの接続ねじは平行ねじG1/2です。テーパねじ(TP1/2,R1/2)には使用しないでください。

また止水には付属のパッキンは必ず使用してください。

【必要工具】

※ その他、現地で必要とする工具をご用意ください。



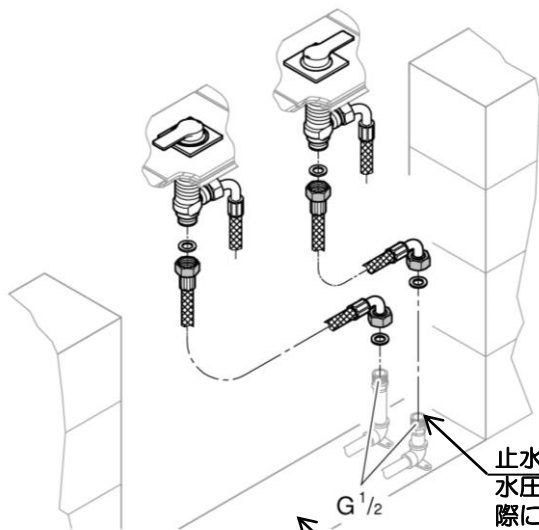
・32mmのボックスレンチ
(グローエ品番:19332000)

軸間46mmで使用出来る自在ピンレンチが必要です。

据付準備

点検窓と止水栓

経年劣化による部品交換や、接続部分の水漏れ点検、水圧調整等が必要になったときのために点検窓と止水栓を必ず設置してください。



止水栓（G1/2接続）を設置してください
水圧の調整や部品交換作業の際に必要です

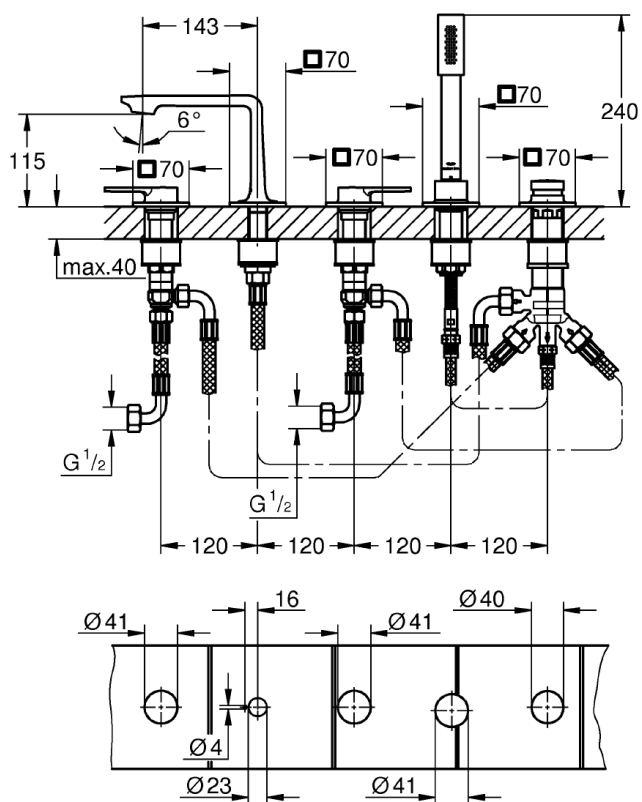
点検窓
部品交換や定期的な点検の際に必要です

注意

- ・図は取付け例です。
- ・点検窓の設置方法および止水栓の位置はご使用環境に合った方法とメンテナンス性を考慮のうえ、施工実施前に十分ご検討ください。
- ・取り付ける場合、必ず水受けを設けスラブへの防水を行ってください。

取付穴寸法

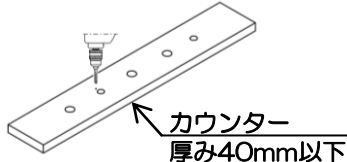
据付には寸法通りの取付穴が必要です。



ポイント

設置の位置は現地の施工性を考慮してご検討ください。

注意



厚さ40mm以下のカウンターに設置が可能です。

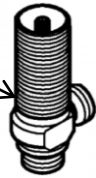
- ※φ4は吐水口の固定ピンの穴になります。
- ※取付穴、寸法は図面を参考にしてください。
- また現地で合わせる場合は施工が可能な寸法をご検討ください。

施工手順

1. 湯・水バルブ および ハンドルの取付け

注意

左用（給湯）
湯側の表示

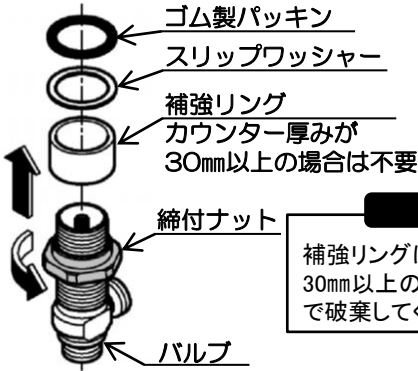


右用（給水）
水側の表示



バルブを取付ける前に、必ず以下の点をご確認ください。
バルブは給水用と給湯用で異なります。
※給水・給湯で間違ったバルブを使用すると開閉動作が正しく動作しません。

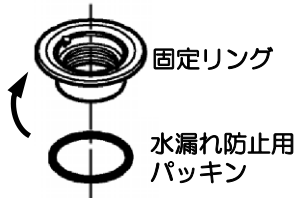
1. バルブに締付ナット、補強リング、スリップワッシャー、ゴム平パッキンを取付けます。



注意

補強リングはカウンター厚みが30mm以上の場合は不要ですので破棄してください。

2. 固定リングの裏面に水漏れ防止用パッキンを取付けます。

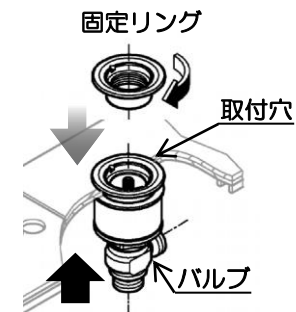


注意

固定リング裏側の溝にパッキンを合わせます。



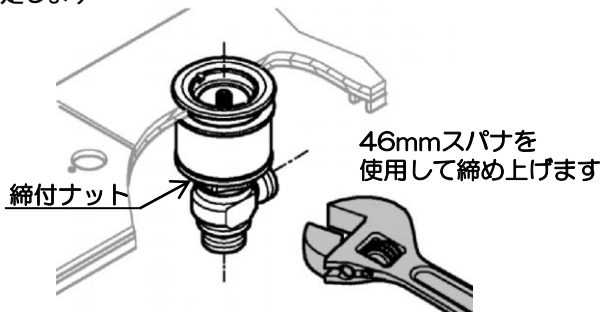
3. 取付け穴の下部からバルブを挿入し、固定リングを上から取付けます。



注意

固定リングは必ず自在ピンレンチ等の工具を使用し、確実に締め付けます。

4. 固定リングがしっかりねじ込まれているのを確認し、締付ナットを締め付けてバルブを最後まで確実に固定します

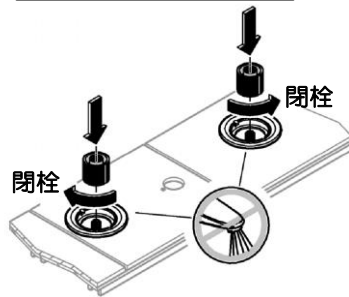


46mmスパナを使用して締め上げます

5. バルブにスピンドルを取付け、バルブを閉栓方向いっぱいまでまわします。

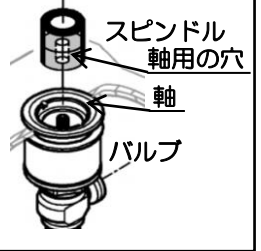
注意

湯側は左まわして閉栓
水側は右まわして閉栓

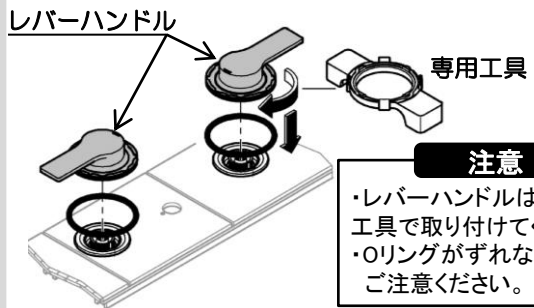


注意

スピンドル取付けの際はバルブ内部の軸をスピンドルの穴に差込みます。



6. レバーハンドルの裏面にOリングを取付け、付属の専用工具を使用してハンドルをバルブにねじ込みます。



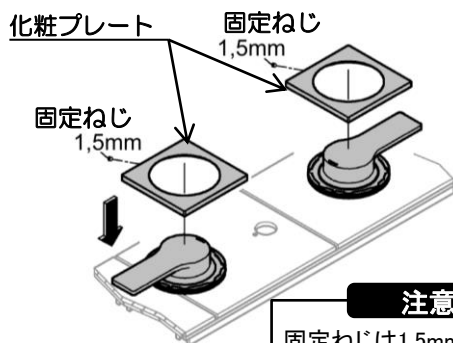
注意

・レバーハンドルは必ず専用工具で取り付けてください。
・Oリングがずれないようにご注意ください。

注意

レバーハンドルの止水位置は上面から見て真っ直ぐの位置になるよう、調整してください。

7. レバーハンドルを傷つけないよう注意し、化粧プレートを取付け、固定ねじで固定します。



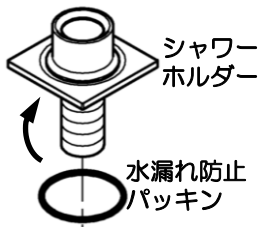
注意

固定ねじは1.5mmの六角棒レンチで締め付けてください。

施工手順

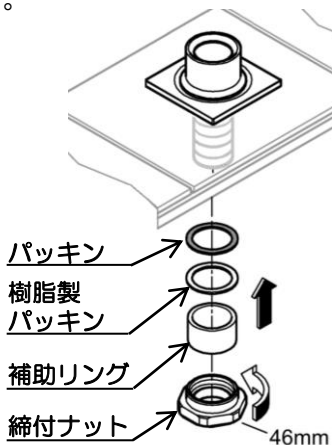
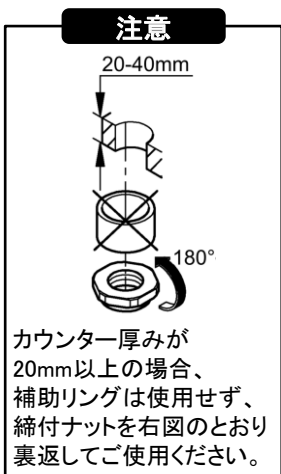
2. シャワーホルダーとハンドシャワーの取付け

1. シャワーホルダー裏面の溝に水漏れ防止用パッキンをはめ込み、取付け穴に設置します。

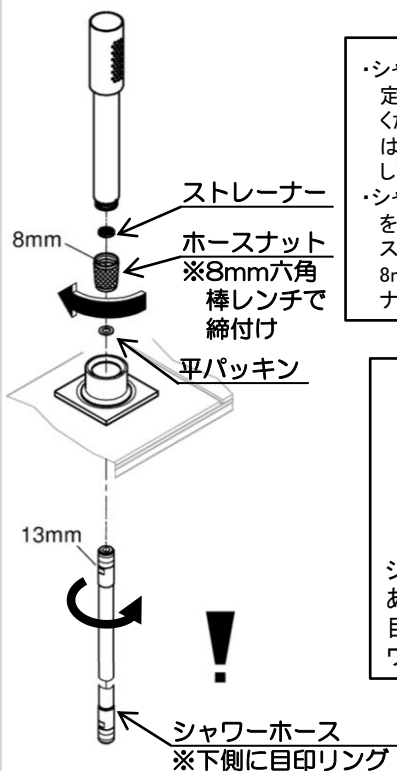


注意
シャワーホルダー裏側の溝にパッキンを合わせます。
※パッキンが溝からズレると漏水の原因になります。

2. カウンター下から、シャワーホルダーのねじ部にパッキン、樹脂製パッキン、補助リングを取付け、締付ナットで締め付けます。



3. シャワーホースの向きを確認のうえスプリングを通し、ホースナットとシャワーヘッドを取付けます。



注意

- ・シャワーホルダーが確実に固定されていることを確認してください。動いてしまう場合は、再度締付ナットを締め直して下さい。
- ・シャワーホースとホースナットを接続の際は、シャワーホースを13mm工具で固定し、8mm六角棒レンチでホースナットを締めこんでください。

注意

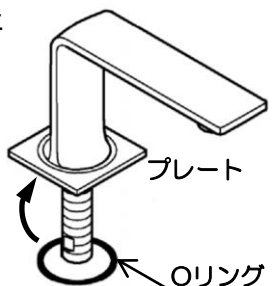
目印リング

シャワーホースは上下があります。目印リングが無い方をシャワーヘッドに接続します。

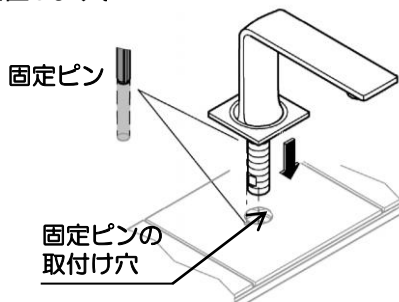
3. 吐水口の取付け

1. 吐水口のプレート裏面の溝にOリングをはめ込みます。

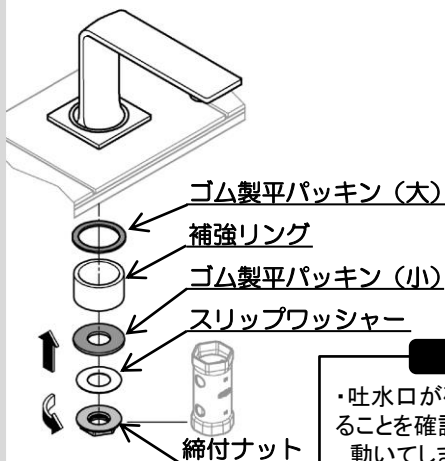
注意
Oリングが溝からズレると漏水の原因になります。



2. 固定ピンとカウンターの固定ピン取付け穴を合わせ、吐水口を設置します。



3. カウンター下から、吐水口のねじ部に締付セットを図のとおり取付け、締付ナットで締め付けます。



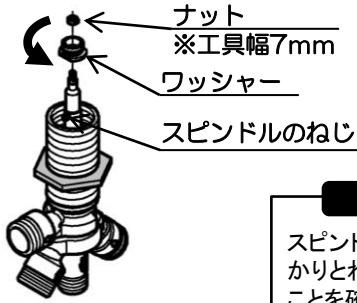
注意

- ・吐水口が確実に固定されていることを確認してください。動いてしまう場合は、再度締付ナットを締め直して下さい
- ・締付ナットの締め付けは32mmボックスレンチ等の工具を使用し、確実に固定してください。

施工手順

4. 切換弁と 切換ツマミ の取付け

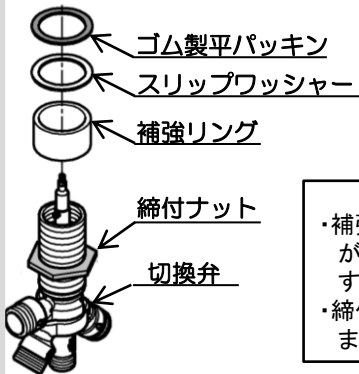
1. 切換弁からナットとワッシャーを取外します。



ポイント

スピンドルのねじがしっかりとねじ込まれていることを確認してください。

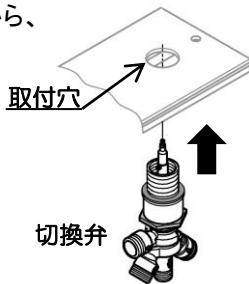
2. 切換弁に締付ナット、補強リング、スリップワッシャー、ゴム平パッキンを取付けます。



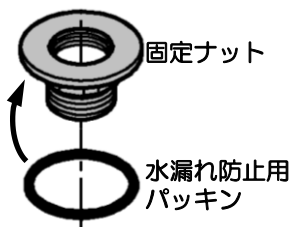
ポイント

・補強リングはカウンター厚みが12mm以上の場合には不要ですので破棄してください。
・締付ナットは切換弁の最下部まで下げておきます。

3. 切換弁取付穴の下側から、切換弁を挿入します。



4. 固定ナットの裏面に水漏れ防止用パッキンを取付けます。



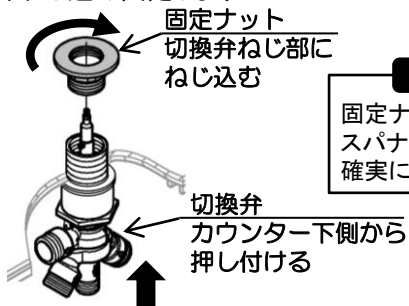
注意

固定リング裏側の溝にパッキンを合わせます。



パッキンが溝からズレると漏水の原因になります。

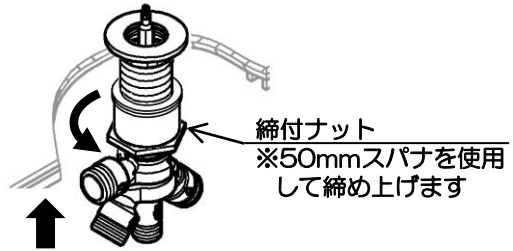
5. 締付ナットを下向きに最大緩め、切換弁をカウンター下から挿入した状態で、固定ナットを切換弁にしっかりねじ込み固定します



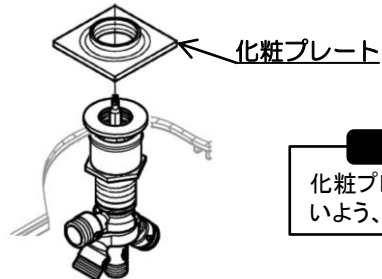
注意

固定ナットは必ず36mmスパナ等の工具を使用して確実に締め付けてください。

6. カウンター下から締付ナットを締め上げます。固定ナットがしっかりねじ込まれているのを確認し、締付ナットを締め付け、最後まで確実に固定します。



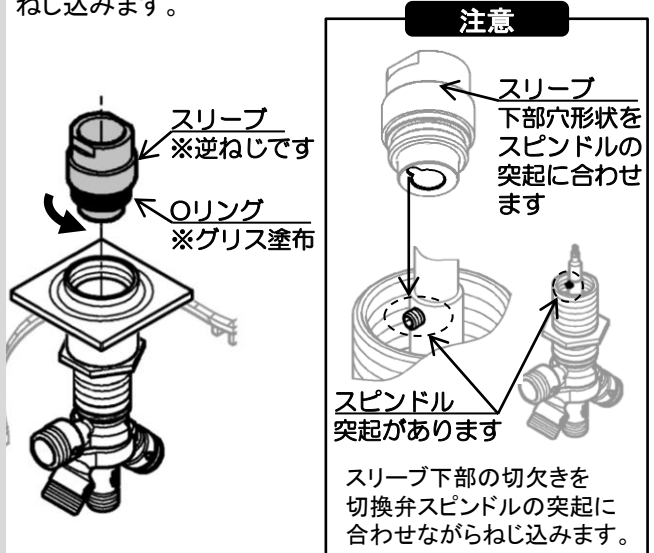
7. 化粧プレートを取付けます。



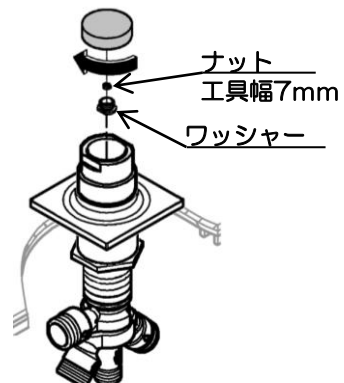
注意

化粧プレートを傷つけないよう、ご注意ください。

スリーブのOリングにグリスを塗布し、切換弁にねじ込みます。



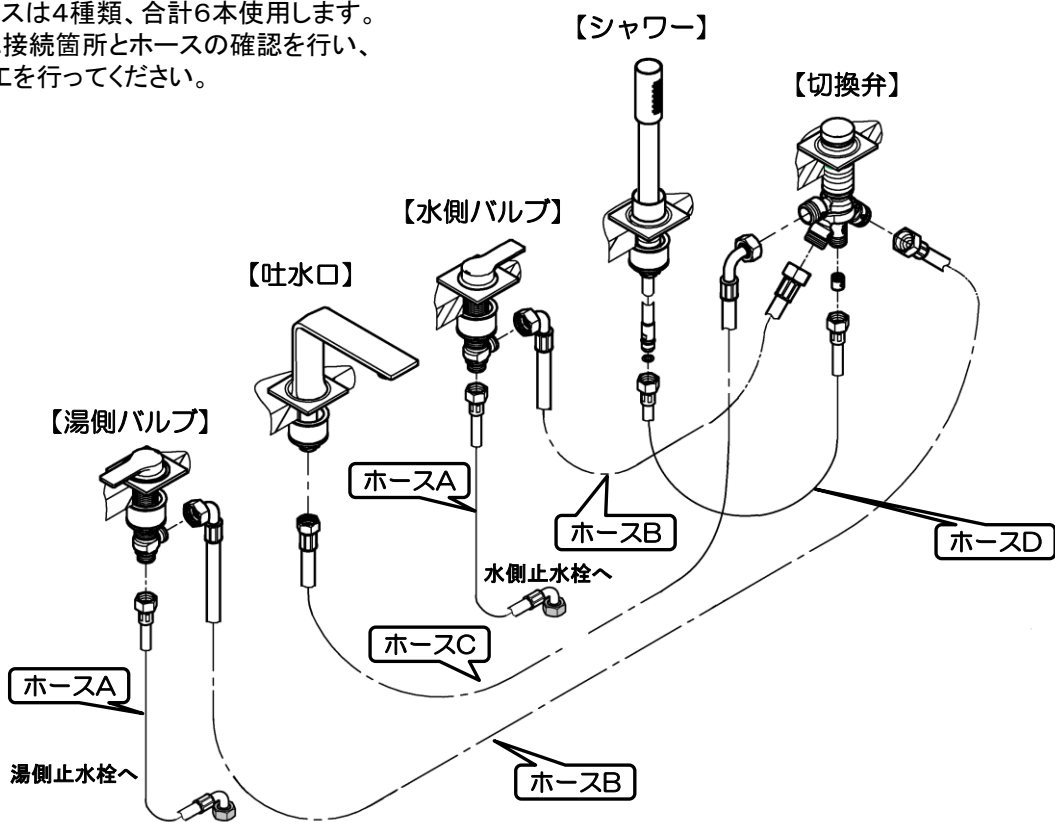
9. スピンドルの軸にワッシャーを取付けてナットで固定し、切換ツマミをねじ込みます。



施工手順

5.ホース接続図とホース種類

接続ホースは4種類、合計6本使用します。
接続前に接続箇所とホースの確認を行い、
正しく施工を行ってください。



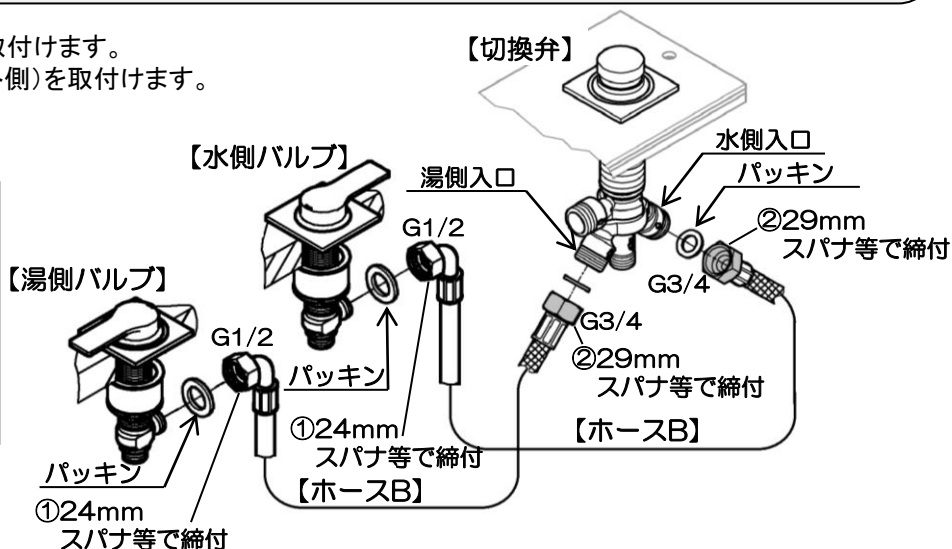
	接続ホース種類	接続先	接続先
A	ホースG1/2 ⇄ G1/2 610mm (2本)	湯側バルブ (G1/2)	湯側止水栓 (G1/2)
		水側バルブ (G1/2)	水側止水栓 (G1/2)
B	ホースG1/2 ⇄ G3/4 600mm (2本)	湯側バルブ (G1/2)	切換弁の湯接続口 (G3/4)
		水側バルブ (G1/2)	切換弁の水接続口 (G3/4)
C	ホースG1/2 ⇄ G3/4 665mm (1本)	吐水口 (G1/2)	切換弁 (G3/4)
D	ホースM15 ⇄ G1/2 550mm (1本)	シャワーホース (M15)	切換弁 (G1/2)

6.湯・水バルブと切換弁のホース接続

- ①バルブに“ホースB” (L側)を取付けます。
- ②切換弁に“ホースB” (ストレート側)を取付けます。

注意

※接続ホース袋ナットにパッキンを必ず取付けてください。
※接続ホースがつぶれたり、ねじれないよう注意してください。
※締付は、200~300kgf・cmのトルクで行ってください。初期の締付が弱いと漏水の原因になります。



施工手順

7.湯・水バルブと切換弁のホース接続

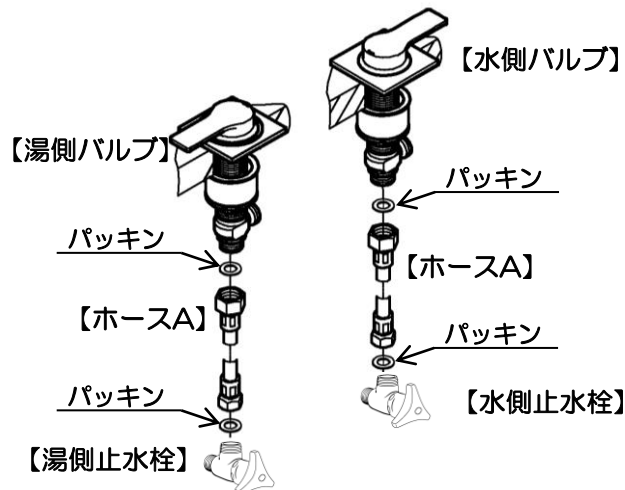
湯側、水側どちらも“ホースA”で止水栓に接続します。

注意

湯水逆に接続しないよう、ご注意ください。

注意

※接続ホース袋ナットにパッキンを必ず取付けてください。
 ※接続ホースがつぶれたり、ねじれないよう注意してください。
 ※締付は、200～300kgf・cmのトルクで行ってください。
 初期の締付が弱いと漏水の原因になります。



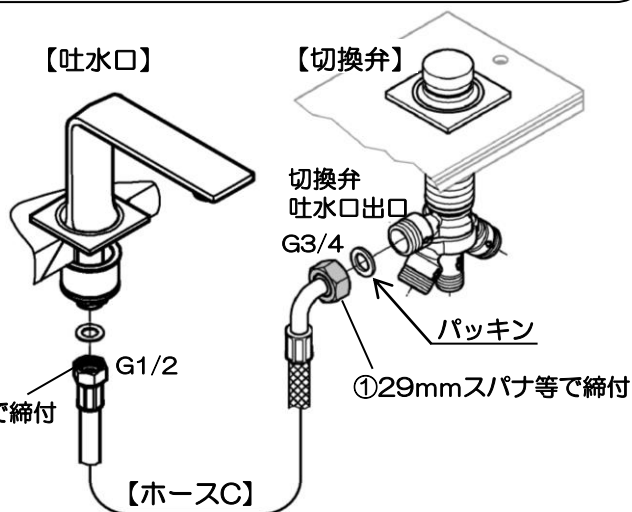
8.吐水口と切換弁のホース接続

- ① 切換弁出口に“ホースC” (L側) を取付けます。
- ② 吐水口接続口に“ホースC” (ストレート側) を取付けます

注意

※接続ホース袋ナットにパッキンを必ず取付けてください。
 ※接続ホースがつぶれたり、ねじれないよう注意してください。
 ※締付は、200～300kgf・cmのトルクで行ってください。
 初期の締付が弱いと漏水の原因になります。

②24mmスパナ等で締付



9.シャワーと切換弁のホース接続

- ① 切換弁出口に“ホースD” (G1/2側) を取付けます。
- ② シャワーホース先端に“ホースD” (M15側) を取付けます。

注意

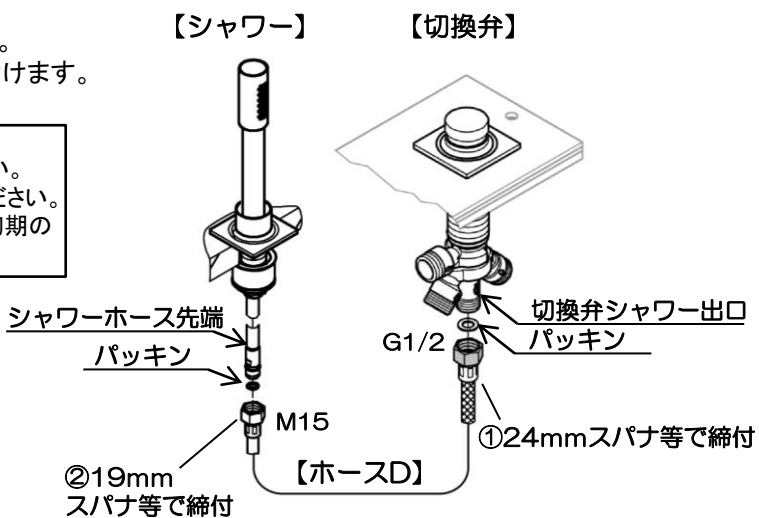
※接続ホース袋ナットにパッキンを必ず取付けてください。
 ※接続ホースがつぶれたり、ねじれないよう注意してください。
 ※締付は、200～300kgf・cmのトルクで行ってください。初期の締付が弱いと漏水の原因になります。

注意

13mm
スパナ等の
工具で
押さえる

19mm
スパナ等の
工具で
締め上げる

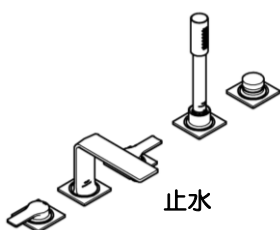
シャワーホース先端に袋ナットを取付ける際は、シャワーホース先端を13mmスパナ等で押さえ、袋ナットを締め上げるようにしてください。
 シャワーホースがねじれないようご注意ください。



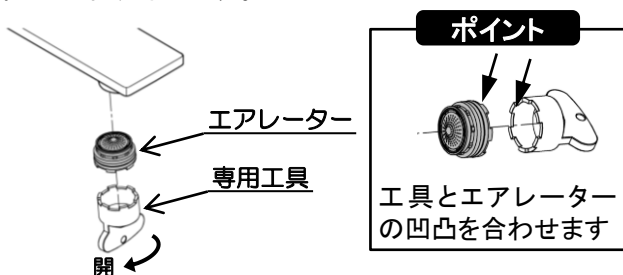
取付け後の確認

1. エアレーターの清掃

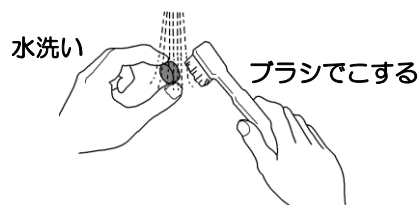
1. 開閉ハンドルを止水状態にします。



2. 工具を使用してエアレーターを反時計まわりに回して取り外します。



3. エアレーターに付いたゴミや汚れを取り除きます。



注意

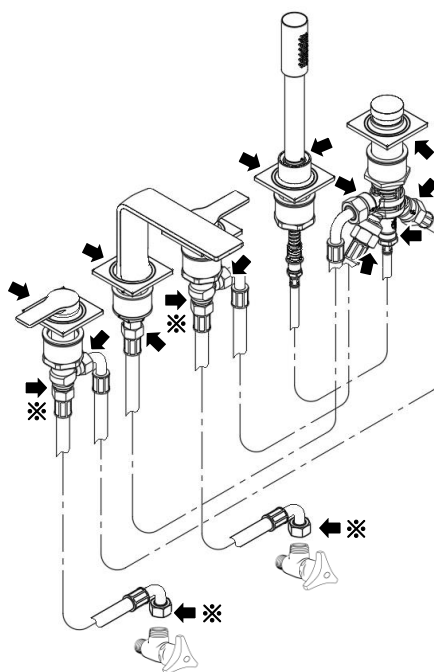
- ・施工直後にはシールテープ、グリス等が付着していることがあります。よく水洗いしてください。
- ・清掃後は専用工具を使用して、確実にエアレーターを取付けてください。
- ・エアレーターは樹脂製です。吐水口側のねじへ正確にゆっくりねじ込まないと、樹脂製のねじが破損する場合があります。

2. 接続部の水漏れ確認

取付完了後は吐水・止水を繰り返したあと、接続部の水漏れが無い確認してください。

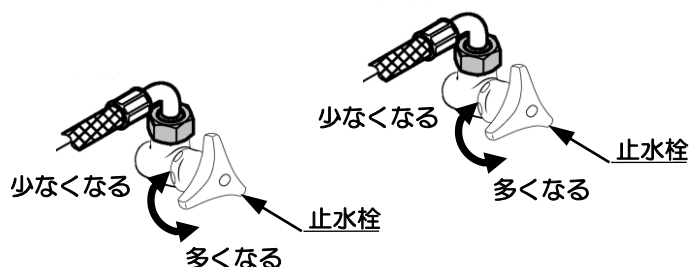
- 止水栓と給水・給湯接続ホースの接続部
- エルボと接続ホース、バルブの接続部
- 給水・給湯接続ホースと湯・水バルブの接続部
- 湯・水バルブと湯・水ハンドルの接続部
- バルブ出口と接続ホースの接続部
- 切換弁と各接続ホースの接続部
- 吐水口ニップルと接続ホースの接続部
- シャワーホースと接続ホースの接続部
- シャワーホースとシャワーヘッドの接続部

※特に、この部分は通水後に漏水が無いことを必ず確認し、万が一漏水があった場合、パッキンを新品に取替え、再度既定のトルクで締付を行ってください。



3. 流量調整

お使いいただく現場で、適量・適温が得られるよう、止水栓で調節します。

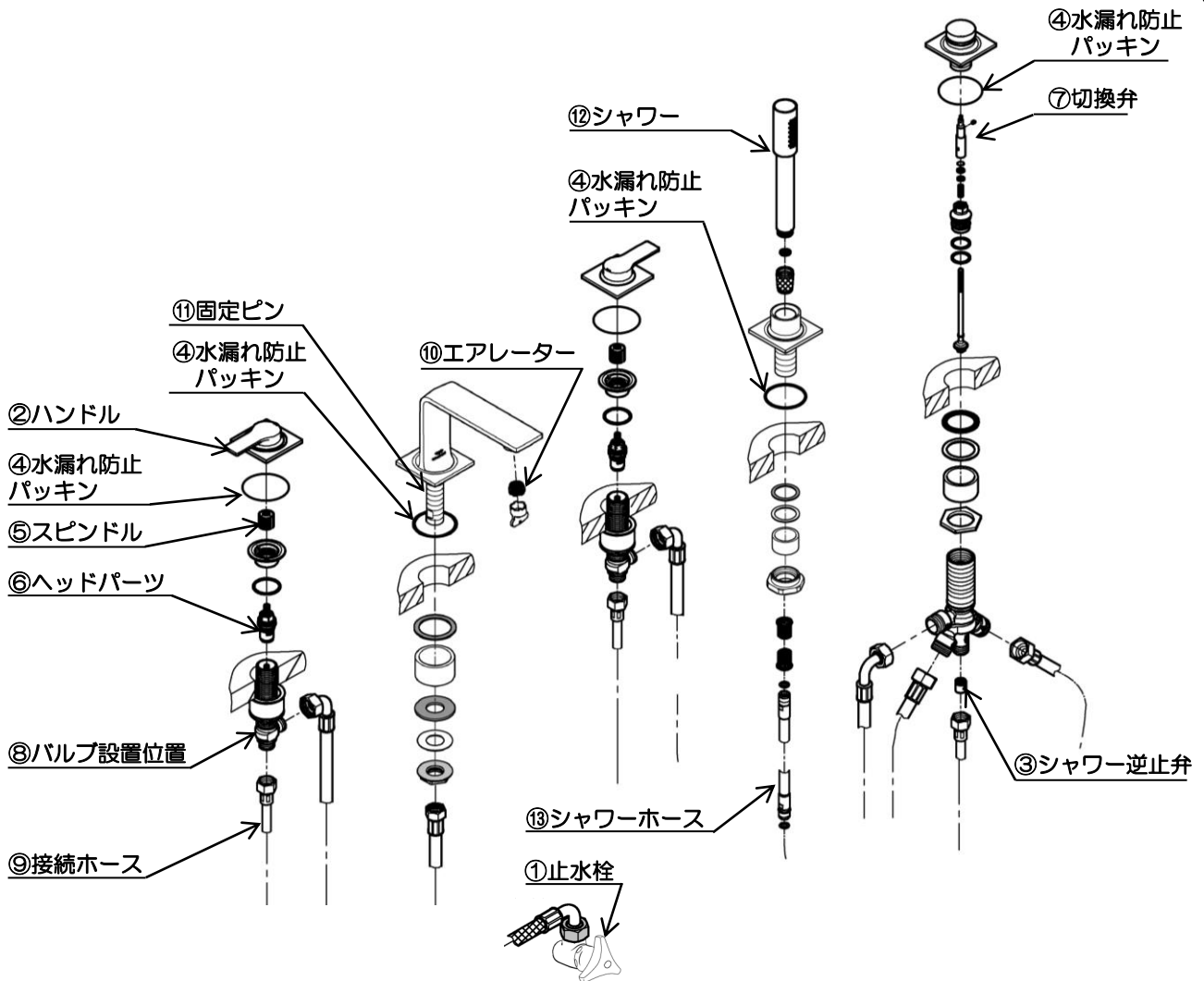


注意

※湯水の流量を同程度にすると温度調節がしやすくなります。

故障と点検

製品設置後に万一故障した際は、次の要領で分解及び点検を行って下さい。



現象	点検箇所	
吐水量が少ない	①	全開になっているか？十分な圧力がありますか？
	⑥⑩	ゴミ詰まりはありませんか？
	⑨	正しく取付けられていますか？
水が止まらない	⑤	正しく取付けられていますか？
	⑥	破損、ゴミかみはありませんか？
温度不良	①	適切に調整出来ていますか？十分な圧力がありますか？
	⑥	破損、ゴミかみはありませんか？
ハンドルがガタつく	②	正しく取付けられていますか？
カウンター内から漏水する	④⑨⑬	正しく取付けられていますか？
ハンドルがすれる、回らない	⑧	適切に調整出来ていますか？
吐水口がガタつく	⑪	正しく取付けられていますか？
シャワーに切替わらない	①	全開になっているか？十分な圧力がありますか？
	⑦	破損、ゴミかみはありませんか？
	⑨	正しく取付けられていますか？
シャワーが引き出せない	⑬	ホースの干渉はありませんか？
シャワーの量が少ない	①	全開になっているか？十分な圧力がありますか？
	③⑫⑬	破損、ゴミかみはありませんか？
	⑨	正しく取付けられていますか？

グローエジャパン株式会社

ホームページアドレス <https://www.grohe.co.jp/>